

今年度からスタート、第1回幼稚園教諭経年者研修会

今年度から新しくスタートした「幼稚園教諭経年者研修会」は、年間2回の開催となります。経験年数が2～5年程度の幼稚園教諭を対象に実施するこの研修会は、講話や協議を通して、幼稚園教育要領の理解を図り、実践的な指導力の向上をねらいとしています。

去る6月5日(金)に開催した第1回は、南風原町立南風原幼稚園 名嘉峯子園長により「幼稚園教育要領と保育実践について」と題して、実際に「幼稚園教育要領解説」を引用しながら、実践例も交えての講話をいただきました。

その後、「保育の実践力を高めるための工夫」についてグループごとに協議を行いました。

今回は、4～5名のグループ編成で、実際に保育の工夫やアイデアを持ち寄って、明日からの実践に活かせる充実した協議となりました。

【研修会の概要】

- 1 開会
 - (1) 開会のことば
 - (2) 所長のあいさつ・講師紹介 島尻教育研究所長 上原雅志
- 2 講話及び協議
 - (1) 講話「幼稚園教育要領と保育実践について」
講師：南風原町立南風原幼稚園 園長 名嘉峯子
 - (2) グループ協議
「保育実践力を高めるための工夫」
 - (3) まとめ 南風原幼稚園 園長 名嘉峯子
- 3 閉会のことば



写真1 「講話」名嘉峯子園長

【講話の概要】 講師：名嘉峯子（南風原町立南風原幼稚園長）

- 1 幼稚園教育要領改定の理由
- 2 幼稚園教育の基本
- 3 幼稚園教育のねらい
- 4 幼稚園教育要領の理解
- 5 環境構成について
- 6 教師の役割



写真2 「グループ協議」の様子

受講生の感想 (研修終了後のアンケートから)

- 週案を立てる際に子どもの姿から、ねらい、内容を立てるといったことがいかに大切であるか学ぶことができました。日々の記録を活用し、保育実践に生かしていこうと思いました。
- 「どの子にも必ず良いところがある」良いところに視点をあてた保育実践を行い、それを記録に取るだけでなく、次に繋げていかなければいけないことを強く感じました。
- 幼児が主体的に活動できるような環境構成をすることで、幼児が自分で考えて行動できるようになるということは、大切だと感じました。
- 他園の現状やアドバイスを聞いたのが良かったです。各園の工夫を知り、課題については一緒に解決策を考えることで様々な意見が聞けて参考になりました。
- 同じ悩みを持つ先生方が多く、安心しました。教材研究や個々の子ども達にあわせた対応、週案の記入など、是非良い面を自分の保育実践に取り入れていきたいと思えます。

幼稚園教諭経年者研修会の協議のまとめ

